

株主の皆さまへ

第89期中間報告書

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申しあげます。

ここに、株主の皆さまへ（第89期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申しあげます。

当第2四半期連結累計期間における当社をとりまく経済情勢は、海外市場は欧州の財政問題等の影響が懸念されたものの、中国や東南アジアの新興国および北米などでの堅調な需要を背景に、全体としては景気拡大が持続した状態で推移いたしました。一方、国内市場は東日本大震災の経済への影響や長期化する円高など懸念される問題は多いものの、徐々に回復の兆しがみられました。機械業界におきましても、中国をはじめとする新興国等の需要により、全体的には堅調に推移いたしました。

このような経済環境のもとで、当社グループは平成23年4月1日から「先進と拡張」を基本コンセプトとしてスタートさせている「TM AC Plan II」(Toshiba Machine Adapt to the Change Plan II)の諸施策を継続して実行し、国内外市場での新商品の開発、市場の開拓、受注確保、財務体質の改善等に全力をあげて取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとするアジアの新興国や北米での堅調な需要に加え、国内でも徐々に設備投資の動きが見られたこともあり、受注高は596億2千9百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における売上高につきましても、受注の増加に伴い、576億1千1百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

また、損益につきましては、新市場の開拓、技術・生産ノウハウの深耕および経営全般にわたる合理化努力を徹底して実施してまいりました結果、営業利益は36億6千4百万円（前年同期比130.8%増）、経常利益は39億2千9百万円（前年同期比231.9%増）、四半期純利益は33億1千万円（前年同期比401.5%増）となりました。



取締役社長 飯村 幸生

なお、中間配当金につきましては、前年同期比で2円50銭増配し、1株につき4円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、欧州の財政問題や米国・中国経済の減速懸念、タイの洪水被害および長期化する円高の影響等先行き不透明な状況が続くものと予想され不安定感を払拭できない状況ではありますが、当社グループは一丸となり事業経営にまい進し、このような状況を乗り切り、安定した収益確保に努めてまいります。

また、研究開発の加速、ISO9001・14001をベースとした品質・環境管理の徹底等をスピードをあげて推進するとともに、会社の将来を担う人材の育成ならびに法令遵守、社会貢献など企業の社会的責任活動等を徹底してやり遂げることで、企業価値の最大化を図り、株主、顧客、取引先、従業員、地域社会等のステークホルダーに報いることができる企業を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成23年12月

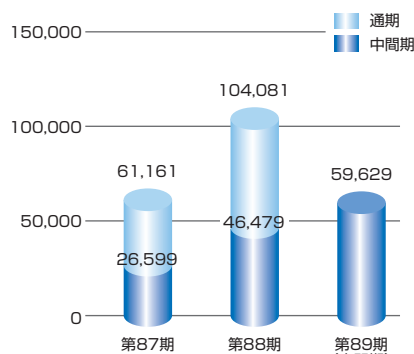
決算ハイライト

連結業績の推移

区 分	第87期 (平成21年度)		第88期 (平成22年度)		第89期 (平成23年度)
	中間期	通 期	中間期	通 期	中間期
受 注 高(百万円)	26,599	61,161	46,479	104,081	59,629
売 上 高(百万円)	37,209	74,694	43,093	95,653	57,611
経 常 利 益(百万円)	△ 1,022	△ 2,112	1,183	3,834	3,929
中間(当期)純利益(百万円)	△ 3,027	△ 4,531	660	3,280	3,310
1株当たり中間(当期)純利益(円)	△ 19.91	△ 29.80	4.34	21.57	21.78
総 資 産(百万円)	116,076	115,806	122,470	131,203	133,689
純 資 産(百万円)	65,485	63,372	63,140	65,325	68,042

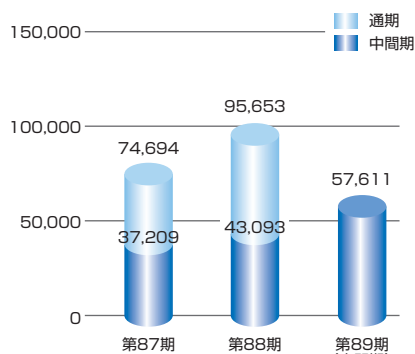
■ 受注高

(単位: 百万円)



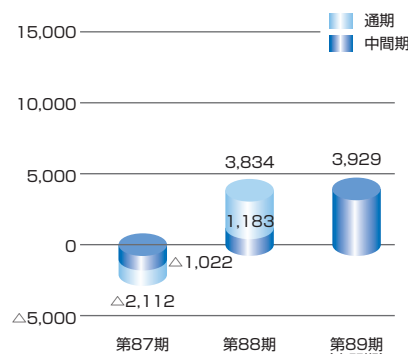
■ 売上高

(単位: 百万円)



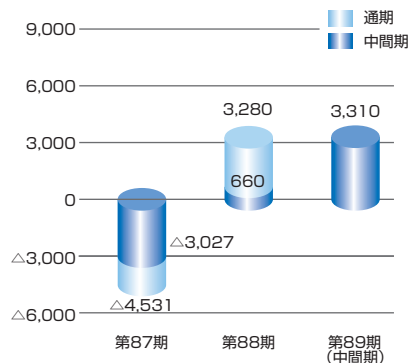
■ 経常利益

(単位: 百万円)



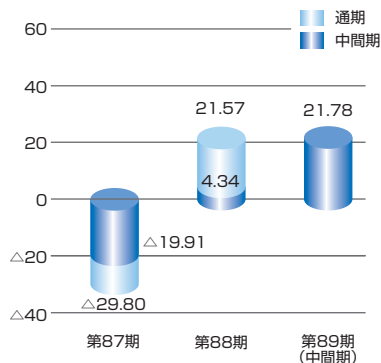
■ 中間(当期)純利益

(単位: 百万円)



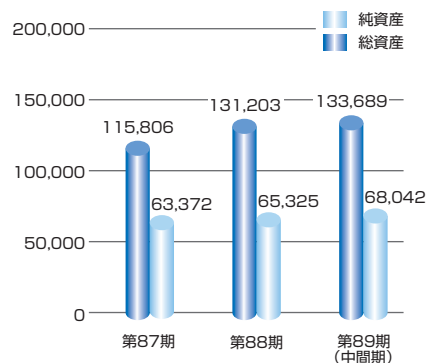
■ 1株当たり中間(当期)純利益

(単位: 円)



■ 総資産/純資産

(単位: 百万円)



部門別の状況

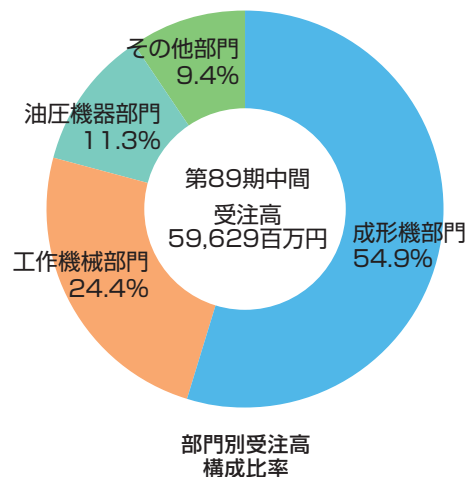
当社の製品・当第2四半期連結累計期間の概況について、部門別（セグメント別）にご紹介いたします。

受注高

当第2四半期連結累計期間の受注高は、中国や東南アジアなどの新興国および北米などにおける自動車関連、家電関連、建設機械業界を始めとする多くの顧客業界の堅調な需要が続いたため、射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機などの成形機、工作機械、油圧機器などで増加し、596億2千9百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

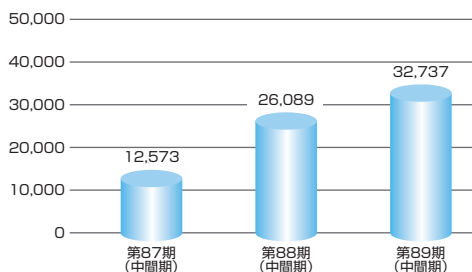
なお、当第2四半期末受注残高は、583億7千8百万円（前連結会計年度末比3.6%増）となりました。

部門別（セグメント別）受注高の内訳は、次のとおりであります。



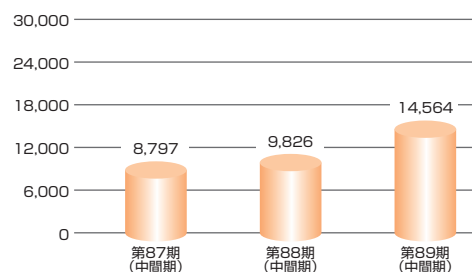
■成形機部門受注高

(単位：百万円)



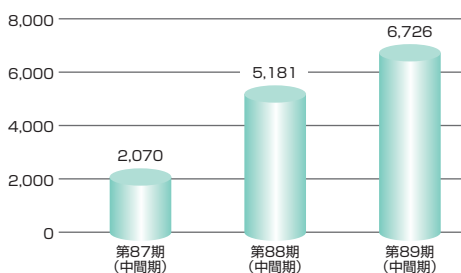
■工作機械部門受注高

(単位：百万円)



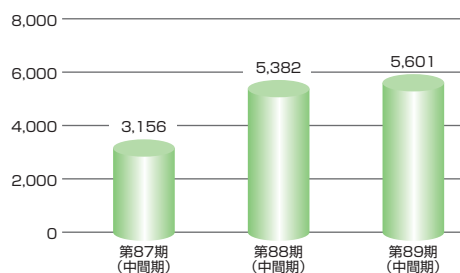
■油圧機器部門受注高

(単位：百万円)



■その他部門受注高

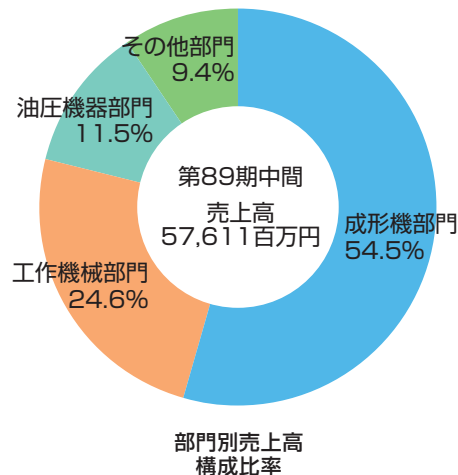
(単位：百万円)



売上高

売上高につきましても、受注と同様に成形機、工作機械、油圧機器などが売上を伸ばし、576億1千1百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

部門別（セグメント別）売上高の内訳は、次のとおりであります。

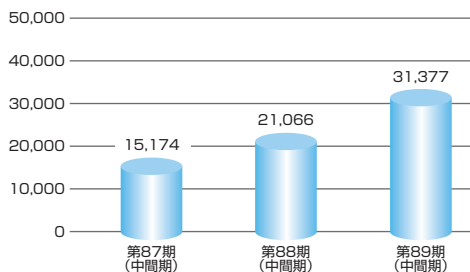


設備投資（連結）および資金調達

本社工場（沼津）、相模工場および御殿場工場を始めとする当社グループの各工場の生産体制合理化のための機械設備などに、2億6千6百万円を投資いたしました。これに要した資金は、自己資金をもって充当いたしました。

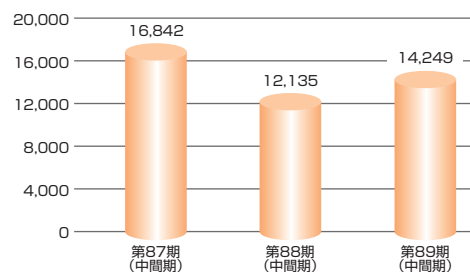
■成形機部門売上高

（単位：百万円）



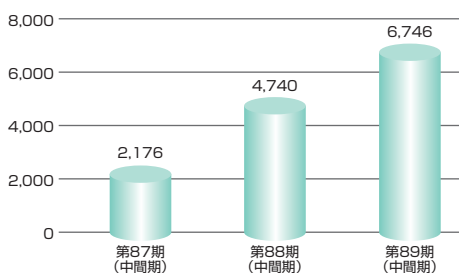
■工作機械部門売上高

（単位：百万円）



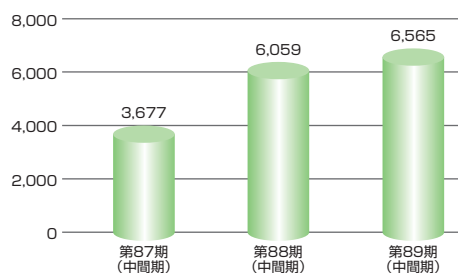
■油圧機器部門売上高

（単位：百万円）



■その他部門売上高

（単位：百万円）



貸借対照表 (連結)

(単位：百万円)

科 目	第89期中間期 (平成23年9月30日現在)	第88期 (平成23年3月31日現在)	科 目	第89期中間期 (平成23年9月30日現在)	第88期 (平成23年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	103,803	101,162	流 動 負 債	50,726	50,243
現金及び預金	15,223	18,513	支払手形及び買掛金	27,161	27,339
受取手形及び売掛金	37,165	35,194	短期借入金	11,924	11,412
有価証券	22,000	17,500	未払法人税等	1,376	711
商品及び製品	3,101	4,784	未払費用	4,770	4,626
仕掛品	21,787	20,934	製品保証引当金	298	208
原材料及び貯蔵品	83	78	その他の流動負債	5,195	5,944
繰延税金資産	2,971	2,535	固 定 負 債	14,920	15,635
その他の流動資産	1,627	1,792	長期借入金	6,450	6,800
貸倒引当金	△ 157	△ 171	長期未払金	42	99
固 定 資 産	29,885	30,041	繰延税金負債	128	145
有 形 固 定 資 産	21,457	22,240	退職給付引当金	8,171	8,438
建物及び構築物	11,180	11,499	役員退職慰労引当金	41	56
機械装置及び運搬具	3,452	3,557	資産除去債務	50	49
土地	6,204	6,223	その他の固定負債	35	45
リース資産	59	68	負 債 合 計	65,646	65,878
建設仮勘定	121	469	純 資 産 の 部		
その他の有形固定資産	438	422	株 主 資 本	68,651	65,797
無 形 固 定 資 産	449	468	資 本 金	12,484	12,484
投 資 そ の 他 の 資 産	7,978	7,332	資 本 剰 余 金	19,600	19,600
投資有価証券	6,666	6,244	利 益 剰 余 金	46,605	43,750
長期貸付金	94	105	自 己 株 式	△ 10,039	△ 10,039
繰延税金資産	575	343	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△ 609	△ 472
その他	691	780	その他有価証券評価差額金	1,073	1,236
貸倒引当金	△ 49	△ 140	繰延ヘッジ損益	0	1
			為替換算調整勘定	△ 1,683	△ 1,710
資 産 合 計	133,689	131,203	純 資 産 合 計	68,042	65,325
			負 債 、 純 資 産 合 計	133,689	131,203

損益計算書 (連結)

キャッシュ・フロー計算書 (連結)

(単位：百万円)

科 目	第89期中間期	第88期中間期
	(平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売 上 高	57,611	43,093
売 上 原 価	42,477	31,188
売 上 総 利 益	15,133	11,905
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	11,468	10,317
営 業 利 益	3,664	1,587
営 業 外 収 益	1,080	366
営 業 外 費 用	815	770
経 常 利 益	3,929	1,183
特 別 利 益	2	—
特 別 損 失	3	36
税金等調整前四半期純利益	3,927	1,146
法人税、住民税及び事業税	1,199	410
法人税等調整額	△ 583	76
少数株主損益調整前四半期純利益	3,310	660
四 半 期 純 利 益	3,310	660

(単位：百万円)

科 目	第89期中間期	第88期中間期
	(平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,006	645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 502	381
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 314	225
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	△ 185
現金及び現金同等物の増減額	1,210	1,067
現金及び現金同等物の期首残高	36,013	31,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,223	33,059

■2011東芝機械グループソリューションフェア開催

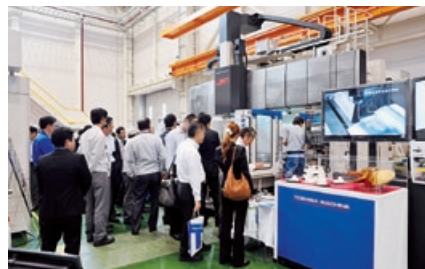
2011年5月19日から21日の3日間、当社グループの総力を挙げた「2011東芝機械グループソリューションフェア」が沼津本社工場および御殿場工場で開催されました。

第9回となる今回は、3月11日の東日本大震災による来場者減少が懸念されましたが、期間中は好天にも恵まれ4,178名のお客さまにご来場いただきました。

今回は従来の【先進】【拡張】に加え【システムエンジニアリング】に力を入れた展示を行ない、お客さまも稼働中の機械システムに足を止めて見入ったり、説明員に熱心に質問されていました。

当社グループのPR活動が功を奏し、会期中多数の引き合い、成約をいただくことができました。

また、今回のソリューションフェアでは、東日本大震災に対して当社が実施している機械復旧サービス活動、義援金の寄付等の取組みを展示するとともに、被災地支援の一環として、食堂での東北産食材利用やお客さまへの東北銘菓のご提供等を行ないました。



2011東芝機械グループソリューションフェア

■ナノ加工システム事業部 USM-6Eが第41回機械工業デザイン賞にて受賞

日刊工業新聞社主催の「第41回機械工業デザイン賞」において、当社のナノ加工システム事業部の高精度ダイシングマシン「USM-6E」が『日本産業機械工業会賞』を受賞いたしました。

本賞は、主に生産財を対象として、外観や性能など様々な要素を総合的に判断して評価されるもので、今回の受賞は使いやすい機械として機能を作り込むとともに、作業者が機械を使う喜びを表したいとデザインした点が評価されたものです。

従来の機械設計工程では、主要機能の決定後にデザインを決めるため、設計のしやすさから箱形の平面的なデザインになりがちでした。今回は家電製品を意識したデザインを旨としながらも、同時に剛性が高い高精度の機械の機能を損なわず、近未来的な雰囲気を実現しました。

今後開発される量産機でもデザイン性を備えた製品づくりに取り組んでまいります。



機械工業デザイン賞受賞



■当社ベトナム現地法人 事務所開設

当社は、中期経営計画である「TM AC Plan (Toshiba Machine Adapt to the Change Plan)」に掲げる真のグローバル化を実現するための施策の一環として、アジア地域における販売・サービス拠点や製造工場の開設を目ざしています。

今回、急速に成長を続けるベトナム市場において、当社グループ製品の販売・サービス体制をより強化するため、ベトナムのハノイに現地法人TOSHIBA MACHINE (VIETNAM) CO.,LTDを開設し、2011年7月に登記を済ませ、同年10月から営業およびサービス活動を開始いたしました。

ベトナム国内を始めとする当社のお客さまからのご要望に速やかに対応できるように、スタッフ一丸となり、今後も期待されるベトナム市場開拓に向けて新たな飛躍を目ざしてまいります。



ベトナム現地法人が入るビル

■環境保全への取り組み ー持続可能な社会を構築するためにー

今年は東日本大震災の発生により、電力各社からの夏場の電力需給が厳しく、沼津本社工場をはじめとする当社グループ主要拠点においても、全従業員が省電力に取り組み、この夏を乗り切ってまいりました。

また、当社グループは環境保全の取り組みとして、6月の環境月間にあわせ、下記の行事を展開しました。

1. 美化ボランティア活動

当社グループの従業員とその家族に地域の中学生も加わり、594名（本社工場200名、相模工場43名、御殿場工場48名、当社グループの東芝機械エンジニアリング（株）104名、東芝電機（株）139名、（株）不二精機製造所60名）が参加して、各工場周辺地域への社会貢献活動として、美化ボランティア活動を行いました。また、夏季に向けての暑さ対策として、ゴーヤなどによる「緑のカーテン」を工場敷地内に設置しました。



美化ボランティア

2. 環境講演会

当社グループの経営層と環境保全担当者を対象に、「環境と防災について」をテーマとした環境講演会を、富士常葉大学 環境防災学部長 池田浩敬教授を講師としてお招きし、開催いたしました。当日は91名が参加し、地震災害リスク、事業継続管理（BCM）とは何か、当社中核事業の抽出、復旧目標時間の設定、リスクの頻度に応じた安全レベルの設定、影響評価、BCMのサイクルなどをご説明いただきました。



環境講演会

会社の概況

(1) 商号

東芝機械株式会社 (TOSHIBA MACHINE CO., LTD.)

(2) 所在地

東京都千代田区内幸町2丁目2番2号

(3) 創業

1938年(昭和13年)12月

(4) 設立

1949年(昭和24年)3月

(5) 資本金

124億8千4百万円

(6) 従業員数

連結：3,151名(前期末比11名増)

単独：1,842名(前期末比16名減)

(7) 主要な事業内容

当社グループは、各種機械・器具・装置の製造・販売を主な事業としており、主要製品は、次のとおりであります。

部門	主要製品
成形機	射出成形機 ダイカストマシン 押出成形機
工作機械	大型機 門形機 横中ぐり盤 立旋盤 精密加工機
油圧機器	油圧機器
その他	電子制御装置

(8) 取締役および監査役(平成23年12月1日現在)

代表取締役社長	飯村幸生
代表取締役専務取締役	井出彰訓
常務取締役	花井宏志
常務取締役	岸本吉弘
取締役	広中哲幸
取締役	八木正繁
取締役	坂元友真
取締役	辻高村和夫
常勤監査役	鈴木正博
常勤監査役	牧野輝幸
常勤監査役	鈴木孝尚
監査役	谷川和生

- (注) 1. 平成23年6月24日開催の第88回定時株主総会において、新たに辻眞、高村和夫の両氏が取締役に、鈴木孝尚、谷川和生の両氏が監査役にそれぞれ就任いたしました。
2. 平成23年6月24日開催の第88回定時株主総会終結の時をもって、取締役跡部與志、矢野文久の両氏が任期満了により、監査役松本倫雄氏が辞任によりそれぞれ退任いたしました。
3. 平成23年6月24日開催の第88回定時株主総会および取締役会において、井出彰訓氏が代表取締役専務取締役に、岸本吉弘氏が常務取締役にそれぞれ就任いたしました。
4. 常勤監査役牧野輝幸、監査役谷川和生の両氏は、社外監査役であります。

(9) 主要な営業所および工場

本 社 (静岡県沼津市大岡2068番地の3)

本店・支店

東京本店 (東京都千代田区内幸町2丁目2番2号)

関西支店 (大阪市)

中部支店 (名古屋市)

九州支店 (福岡市)

東北支店 (仙台市)

工 場

本社工場 (静岡県沼津市)

相模工場 (神奈川県座間市)

御殿場工場 (静岡県御殿場市)

営 業 所

高崎営業所 (群馬県高崎市)

静岡営業所 (静岡県掛川市)

広島営業所 (広島県広島市)

尾道営業所 (広島県尾道市)

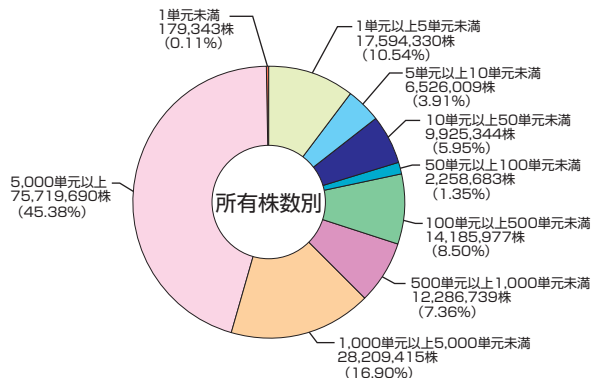
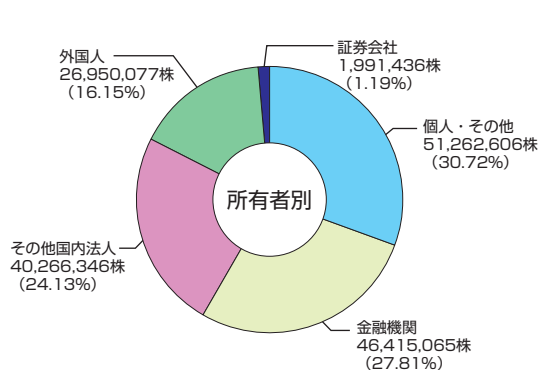
株式の状況

- ①発行可能株式総数 360,000,000株
- ②発行済株式の総数 166,885,530株（自己株式14,851,790株含む）
- ③株主数 14,013名（前期末比360名増）
- ④大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
株式会社東芝	33,545千株	22.1%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	12,950	8.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	8,714	5.7
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	5,658	3.7
株式会社静岡銀行	2,980	2.0
株式会社三井住友銀行	2,682	1.8
東芝機械取引先持株会	2,554	1.7
トヨタ自動車株式会社	2,420	1.6
ジュニパ	2,325	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	1,811	1.2

(注) 1. 当社は、自己株式を14,851,790株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

⑤株式の分布状況



ホームページのご紹介



東芝機械ではホームページによる情報開示を積極的に行なっております。財務情報や最新ニュースをはじめとするIRサイトも掲載しており、製品情報も含めて随時更新を行なっております。

<http://www.toshiba-machine.co.jp>

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
公告掲載新聞 日本経済新聞
株主名簿管理人(※1) 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行なっております。(※2)

(お知らせ)

(※1) 当社の株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」となります。なお、平成24年4月1日(日)は、株主名簿管理人の休業日につき、実際の取扱いは、平成24年4月2日(月)からとなります。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先・
電話照会先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(住所、電話番号の変更はございません)

(※2) 日本証券代行株式会社による取次事務につきましては、平成24年3月末をもって終了させていただきます。

